

2024年度インド教職員招へいプログラム



日本滞在中に印象的だったこと

- 1.学校訪問：特に越谷北高校では、探究や活動ベースの教育や学びにおけるテクノロジーの効果的な活用方法や、校内清掃をする生徒たちの姿に感銘を受けた
- 2.箏曲を聴いて癒された
- 3.東京ゆりかご幼稚園では、園児たちが自然と触れ合う活動に夢中になっていたことが印象的だった
- 4.東京にあるインド大使館に表敬訪問し、大使とお目にかかれたこと
- 5.久喜東小学校の子どもたちにヨガやボリウッドダンスなどを教える文化交流授業
- 6.オンラインで本プログラムに参加したことをきっかけに知り合った日本の先生方との再会
- 7.私が実施した日印オンライン生徒間交流プログラムについて、ACCU職員に現地での様子などを共有できたこと



1. 松井先生と話し合い、次回のオンライン交換プログラム（11月・12月にて実施）の開催が決定した。
2. 新潟高校とのオンライン交流プログラムが今年で3年目を迎えた。
3. すでに埼玉県立越谷北高等学校に対し、様々なトピックに関するオンライン生徒間交流のプラットフォームを立ち上げるためのプロポーザルを送った。
4. 本校での取り組みをより発展させ、東京ゆりかご幼稚園、久喜東小学校とのオンライン交流を通じて、様々な幼稚園、高校との連携を図る。
5. インド国内の有名な学校より、本プログラムでの経験をシェアしてほしいというオファーが来た！
6. 生徒のためのオンライン交流プログラムを本校が活発に行う中で、僻地にある学校の生徒たちも交流ができるようみたい。
7. すでに近隣の学校の先生方に対し、本プログラムでの経験を話した。彼らは日本で実践されている教育・学習プロセスや教授法に感銘を受けていた。
8. さまざまな大学等教育機関が、本校で実施した日印学校間交流を踏まえ、日本のカウンターパートとオンラインやオフラインで交流することを熱望している。